

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和2年10月21日(水) 10時30分～11時10分	
参加者	議題
利用者 4人 利用者家族(風楽里) ー // (笑楽日) 1人 知見者 1人 オブザーバー 市職員 1人 // 地域包括支援センター 1人 実習生 3人 地域住民の代表者 1人 事業所 3人	1. 出席者の紹介 2. 活動状況報告・・・別紙参照 3. 身体拘束等適正委員会開催
会議録	

施設より

施設の活動報告：コロナウィルス禍で外出レクを楽しめない分、施設内で昼間、夜間と夏祭りの縁日を楽しんで頂いたり、敬老会などスタッフの創意、工夫で創作活動やゲーム楽しんで頂いた。

衛生管理の報告

- ・来所者には検温、手洗い、消毒用アルコールを用意し外からのウィルスの侵入でいる。職員も同様。
- ・通い利用者の迎え時には体温計、消毒アルコール持参、利用者の検温、下車後のハンドル、ドアノブ等のアルコール消毒の徹底。
- ・笑楽日利用者にはマスク装着、クリアファイルでマスクケースを作り各自食事やお茶の時はケースに仕舞う。帰宅時は笑楽日管理とする。
- ・インフルエンザ予防接種 10/13・10/18

風楽里入居者 8人 笑楽日利用者 19人 (全員) 完了

管理者より

- ・身体等拘束委員会：身体拘束の事例はなかった。声掛けにも注意を払っている。
- ・部内研修で身体拘束についての研修：スピーチロックについて実例を挙げ研修報告。
- ・風楽里で利用者の看取り介護を実施中。テキストで終末期の経過軸と看護師より終末期の介護の方法の説明を受けた。

地域の代表より

3月以降、地域の行事は全て中止。今年度はなしとする。

オブザーバーより

- 歯科往診時に「手を縛ってもよいか」の医師の問いかけに身体拘束になるから治療中止をした報告について「スタッフが側につき宥めるとか手を握るなどして治療が継続できなかったかの問いかけがあった。→スタッフが側らにつき恐怖心を和らげることができた筈、若いスタッフの経験不足。今後の研修に活かしていきたい。
- 年末の餅つき等の地域住民との交流を兼ねた行事は感染予防のため控えることが賢明な判断。